

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 021	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 落花生における莢褐斑病の対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 相州落花生協議会の事業として秦野市では、「郷の香」及び「改良半立」の原種及び種子生産を行っているが、ここ数年、落花生種子の購入者から「莢褐斑病」による汚れに関するクレームが続いている。特に、昨年は「改良半立」の種子生産ほ場で同病害が多発し、生産物審査で不合格となっている。 普及指導部では、耕種的防除としてはほ場の転換、輪作による指導を行っているものの、ほ場確保が困難なことため病害防止につながっていない。そこで、薬剤防除等の対策を検討願いたい。 平成28年度落花生採種面積 郷の香30a 改良半立18a	
解決希望年限	<input type="radio"/> ①1年以内 <input checked="" type="radio"/> ②2～3年以内 <input type="radio"/> ③4～5年以内 <input type="radio"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部病害虫研究課
対応区分	<input type="radio"/> ①実施 <input type="radio"/> ②実施中 <input type="radio"/> ③継続検討 <input type="radio"/> ④実施済 <input checked="" type="radio"/> ⑤調査指導対応 <input type="radio"/> ⑥現地対応 <input type="radio"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ラッカセイ莢褐斑病は <i>Rhizoctonia sp.</i> による土壌病害ですが、平成29年9月20日現在本病害を対象とした登録農薬がないため、対策が難しい病害です。過去には、種子消毒と栽培前の土壌消毒を組み合わせ等による防除試験が行われていましたが、 <i>Rhizoctonia sp.</i> は土壌粒子に付着しておりこの付着した土壌粒子が風などによって容易に移動することから、これらの方法をおこなっても周辺に本病害の発生圃場が存在すると再汚染が起り、対策効果が十分に発揮されないことが予想されます。今後、農薬メーカーにより本病害の薬剤登録の動きがありましたら、情報をおつなぎします。また、現地での耕種的な病害対策など普及指導部で現地調査をおこなう際には協力させていただきます。		
解決予定年限	<input type="radio"/> ①1年以内 <input type="radio"/> ②2～3年以内 <input type="radio"/> ③4～5年以内 <input type="radio"/> ④5～10年以内		
備考			